

今年度の「地域別総合防災研修」の改善点

平成29年度「第5回企画検討会」で整理			今年度の企画検討会で検討	
区分	項目	No.	課題	改善点
カリキュラム	アンケート 事前	1	期待されている内容とカリキュラムの内容が合っていない。 ○災害対策本部の運営(体制、運営方法等) ○防災対策や災害対応の事例・経験談・教訓	募集パンフレットの副題等に「基礎的な知識や態度」を習得することを記載することで、防災の「初心者向け」の研修であることを明示。【資料3-2】
		2	「スペシャリスト養成研修」で連想される研修レベルと実際の講義内容のレベルが合っていない。 ○基本的な内容が多い。 ○災害時の対応を突き詰めた研修にしてほしい。	
	最終日アンケート	3	講義に追加してほしい内容がある。 ○法体系 ○ハード整備 ○避難所の指定 ○避難行動要支援者名簿 ○自主防災組織 ○実際に現場で活動した方の意見 ○現場研修(地方の市町村の防災担当部署の現状や対策等) ○OJT研修の説明	企画検討会の「研修のあり方検討」で見直しを図る。
		4	講義内容は概要が多く、もの足りない。 ○もっと掘り下げた内容を勉強したい。 ○実災害からの教訓等について訊きたい。 ○「応用編」などがあるとよい。	募集パンフレットの副題等に「基礎的な知識や態度」を習得することを記載することで、防災の「初心者向け」の研修であることを明示。【資料3-2】
講義内容	単元別アンケート	5	講座の内容の満足度が低い単元がある。	・講師に対して、講義の進め方や改善してほしい事項、昨年度のアンケート結果をまとめた資料を提供し、改善を依頼する。
研修期間	アンケート 最終日	6	習得する内容が多く、研修期間・時間が足りない。 ○「3日間程度は必要」「もどって復習する」といった意見も多い。	企画検討会の「研修のあり方検討」で見直しを図る。

区分	項目	No.	課題	改善点
人的ネットワーク	最終日アンケート	7	半分弱の受講者が、 <u>人的ネットワークを作れなかったと感じている。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・確定通知の案内文で名刺の持参を促す。 ・1日目「演習」と2日目「全体討論」の<u>グループのメンバーを変更。</u> ・1日目に<u>名刺交換会</u>を開催。
		8	参加者同士の <u>意見交換・交流の時間が足りない。</u> ○演習を増やして意見交換の場を設ける ○1日目の終了後の懇親会・交流会 ○情報交換の場	
運営	最終日アンケート	9	会場によって空調が使えないため、 <u>会場内の温度調節ができない場合がある。</u>	会場の空調を事前に確認し、 <u>使えない場合は服装等で体温調節して頂くよう事前に告知する。</u>
		10	遠方から来る受講者にも配慮し、 <u>開始時間・修了時間調整してほしい。</u> ○1日目の閉会時間を少し遅く、2日目の終了時間は早めのほうがよい ○開始時間が早めのほうがよい(8:30～又は9:00～) ○終了時間が17:30は少し遅い	企画検討会の「 <u>研修のあり方検討</u> 」で見直しを図る。 ※今年度も全8会場で1日目・2日目ともに、9:30～17:30の予定。
修了者	修了者数等のまとめ	11	応募者数に比べて <u>修了者数が減ってしまう。</u>	<u>開催県の担当者に、受講者には可能な限り全単元を受講して頂くようお願いする。</u>
テスト	確認テスト	12	確認テストの設問のうち、 <u>正解率が70%未満のものがある。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>講義の内容に合った問題文になるよう見直す。</u> ・<u>問題文の内容を講義で教えて頂くよう講師に依頼する。</u>
委員からの個別指摘事項		13	事前アンケートについて、 <u>「期待することや習得したい内容」を訊いても、それを生かしていないためアンケートから削除するか見直しが必要ではないか。</u>	・ <u>期待することを訊く設問については削除する。</u>

区分	項目	No.	課題	改善点
委員からの個別指摘事項 (つづき)	14	単元「地域の災害特性」について、内容的な偏りがある。(今回の場合、静岡での開催で、風水害「のみ」というのは問題。)	管区气象台等に出講依頼する際、地震・津波災害、風水害、火山災害について、地域に応じた講義をして頂くよう依頼する。	
	15	単元「被災者支援の枠組み」について、内容が「災害救助法」のみである。せめて、被災者生活再建支援法と、罹災証明書の交付については取り上げた方がよいのではないか。	「被災者生活再建支援法」と「罹災証明書の交付」について講義で取り上げるよう、講師に依頼する。	
	16	「有明の丘研修」の「防災基礎」は、標準テキストの整備過程で研修の構成や内容のブラッシュアップを進めたが、「地域別総合防災研修」では進められていない。	企画検討会の「研修のあり方検討」で見直しを図る。	
	17	「地域別総合防災研修」の「防災行政(全体概要)」は防災についてどういことを学ぶのが重要であり、総論の標準テキストの内容を話して頂きたい。	講師には60分のうち、目安として30分以上は防災行政の全体概要を説明して頂くよう調整。	
	18	「地域別総合防災研修」の受講者は、過半数が「有明の丘研修」の「防災基礎」コースと同じレベルの人(防災の初任者や防災の経験の浅い職員)で、且つベテランの人も来る。ベテランの人が不満を持たないように研修の冒頭で「本研修はどちらかという初歩の人向けである」ことを説明した方がよい。	・募集パンフレットの副題等に「基礎的な知識や態度」を習得することを記載することで、防災の「初心者向け」の研修であることを明示。 【資料3-2】 ・研修1日目のオリエンテーションにおいてカリキュラムの内容、学習目標について説明。	
その他 (今回追加)	19	単元別アンケートで質問している、講師および講義内容に対する満足度は、結果がほとんど同じ傾向にある。一本化してもよいのではないか。	別々に質問をせずに講義内容の満足度を聞く質問に一本化。	
	20	最終日アンケートでは、評価結果の判明している質問(例:「研修の実施時期に対する希望」「会場・受講環境」「スタッフの対応」)が含まれている。	質問項目を精査し、事務局で評価結果を把握している質問は削除。	